

## 第2948回例会 令和6年11月28日(木)

出席委員会委員長	早川 比呂太
会員総数	18名
本日の出席者(免除者)	14名(2名)
本日の出席率	82.3%

### 会長あいさつ

#### 会長 鈴木泰光 君

こんにちは。本日のお客様はIM実行委員長 杉浦文雄君とIM副実行委員長の出口達也君です。米山奨学生のクインさんに奨学金をお渡しします。

今年度のIMのホストは刈谷RCさんで、トヨタの監査役さんが講師とのことで大変楽しみにしています。

私事です。宅地建物取引士の資格を取得できました。自己採点では落ちていると思っていましたが、合格発表を見て、勉強をかなり頑張りましたので本当にうれしかったです。息子も同時に受かりました。皆さん、努力は必ず実ります。ありがとうございました。

### 今週のスマイル

#### 親睦委員長 久米健史 君

##### 杉浦文雄君(刈谷RC)

IM実行委員長の杉浦文雄です。PRよろしくお願ひ致します。

##### 出口達也君(刈谷RC)

本日IMのPRに参りました。2025年2月22日、笑顔でお待ちしております。たくさんのご参加よろしくお願ひ致します。

鈴木泰光君 杉浦IM実行委員長、出口IM副実行委員長、ようこそ西尾一色RCへ。IM楽しみにしています。

牧野美恵君 杉浦IM実行委員長、出口IM副実行委員長、ようこそ西尾一色RCへ。田中さん卓話よろしくお願ひ致します。

鳥居万里君 他の会の用で早退します。田中三千雄君よろしくお願ひ致します。

神谷 林君 田中君の卓話楽しみに聞かせてもらいます。

田中三千雄君 卓話やります。お願ひ致します。

早川比呂太君 刈谷の杉浦様、出口様ご苦勞様です。田中さん、本日は卓話よろしくお願ひ致します。

山下民義君 田中さん、本日は卓話ご苦勞様です。

渡邊 徹君 田中さん、今日は卓話よろしくお願ひ致します。

尾崎三枝子君 田中三千雄君、本日よろしくお願ひ致します。

藤井知明君 ようこそ西尾一色RCへ。IMのPRよろしくお願ひ致します。

久米健史君 年末家族会が近づいてまいりました。よろしくお願ひ致します。

**13件 20,000円**

### 本日の卓話

## 「ロータリー財団について」

#### クラブ ロータリー財団委員長 田中三千雄 君



11月はロータリー財団月間で、今までは地区の委員さんが卓話にみえていましたが、今年度は地区の方針により、本日は私からお話します。

これはアーチ・クラフさんで、1917年に募金を

しようということで基金の設置を提案しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人々の人生を変える財団へと発展し、この方の名前が残った寄付金名があります。

国際ロータリーは、わたしたちの会費で運営されていますが、ロータリー財団は、わたしたちからの寄付のみで、運営・活動がなされています。国際ロータリーとロータリー財団の資金の違いを説明すると、本年度の場合、国際ロータリーは、人頭分担金額が78.5ドルですので、世界の会員を113万人とすると、8,870万ドルの収入となります。一方、ロータリー財団は、2022-23年度の実績になりますが収入としては、3億6,650万ドルの寄付が寄せられました。支出はこのクラブのとおりです。

昨年度の2760地区の実績ですが、年次基金は平均154\$、ポリオで45\$、恒久基金は30クラブでした。当クラブの年次基金は一人あたり100\$、ポリオプラスは30\$になっています。本年度の地区目標は、年次基金一人あたり150ドル以上、ポリオプラス基金一人あたり30ドル以上、恒久基金は、新規ベネファクター1名またはクラブで1,000ドル以上です。本年度も地区目標達成に向けてご協力よろしくお願ひいたします。

恒久基金(ベネファクター)というのは貯めておき、投資運用して、元金が支出されることなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団のプログラムを支えるというものです。

わたしたちが行った寄付に対して、さまざま認証の機会が設けられています。ポール・ハリス・フェローは、恒久基金以外の寄付額が1,000ドルに達した方に贈られる認証です。その後、2回目以降がマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。ベネファクターは、先ほどご説明した恒久基金への寄付が1000ドルに達したとき、1回のみ贈られる認証です。メジャードナーは、寄付の分類にかかわらず累計額が10,000ドルに達した方に贈られる認証です。寄付の分類にか

かわらず累計額が25万ドルに達した方は、アーチ・クラブ・ソサエティのメンバーとなります。ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)は、年次基金やポリオプラス基金へ毎年1,000ドル以上の寄付を約束された方に贈られる認証です。ポリオプラス・ソサエティ (PPS)は、ポリオプラス基金へ毎年100ドル以上の寄付を約束された方に贈られる認証です。

地区補助金についてですが、1ロータリー年度につき1回、地区で一括して本部に申請を行います。当地区では、2022-23年度より、クラブの3年前の年次基金寄付額の、23.75%までが申請可能額となりました。さらに、2023-24年度からはクラブの拠出金がなくても申請可能となっています。承認されれば、地区に一括して補助金が入金され、クラブに振り込まれます。そこから事業をスタートすることができるようになります。

寄付とは別に、ポリオ根絶の支援を行えるのがロータリーのクレジットカードの利用です。例えば、ロータリーカードで2万円の買い物をすると、その金額の0.3%の60円がポリオ根絶の活動資金になる、というわけです。

ご覧の種類があり、いずれもカードの種類に応じて利用額の0.3%または0.5%が、自動的にポリオ根絶の支援金となります。クレジットカードを利用したら、自動的にポリオ根絶のための支援資金が増えるわけです。

ポリオの現状ですが、1988年にロータリーとしてポリオを根絶しようと始めました。当時は35万件の発症がありましたが、現在はアフガニスタンとパキスタンで40人くらいの発症です。イスラエルとイスラム原理主義ハマスの戦いが続くパレスチナのガザ地区でポリオの発症者が25年ぶりに確認され、ワクチン接種のため12日間停戦しました。ポリオの根絶にはお金が必要です。ロータリーは毎年5,000万\$を捻出しています。

ポリオ根絶の支援金のお話をしたところで、パキスタンでのポリオ根絶活動を紹介した動画をご覧ください。~動画視聴~

ポリオ根絶は国際ロータリーの最優先事項であり、世界中のロータリアンが手掛けている活動です。わたしたちも引き続き支援を行っていきましょう。

今年も補助金事業で、3月13日に佐久島に行く予定をしていますが、ここ数年植樹をしてきて植えっぱなしになっています。植えた後の管理など何かできることはないか考えてみてはどうでしょうか。

2025年2月22日(土)開催  
西三河分区インターシティミーティング  
PR訪問がありました。  
IM 実行委員長 杉浦文雄君 (刈谷 RC)  
IM 副実行委員長 出口達也君 (刈谷 RC)



米山奨学生 レゴック シュアン クインさんに  
奨学金をお渡ししました。



## ゴルフ部より

11月23日(日)  
ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会 葵 CC  
優勝 早川比呂太 君  
2位 神谷 正康 君  
3位 神谷 林 君

## 今週の献立

【福きたる】

